

平成 21 年 4 月 1 日現在

研究種目：若手研究（B）
 研究期間：2007～2008
 課題番号：19720229
 研究課題名（和文） 現代中国に観光における漢字イデオロギーに関する人類学的研究
 研究課題名（英文） Anthropological Study on the Ideology of Chinese Characters in China Tourism.
 研究代表者
 高山 陽子（TAKAYAMA YOKO）
 亜細亜大学・国際関係学部・講師
 研究者番号：20447147

研究成果の概要：

本研究の目的は、近代中国のモニュメントの対象として、文字社会における漢字の優位性を明らかにすることである。20世紀の中国には、西洋芸術が導入され、1930年代以降はソ連の社会主義リアリズムが大きな影響を与えたが、漢字の優位性が揺らぐことはなかった。物質に過ぎなかったモニュメントは、政治家による題字や由来を示す碑文が除幕されたときに、はじめて意義を持ち始める。この価値観を本研究では、漢字イデオロギーと呼ぶ。

交付額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	1,000,000円	0円	1,000,000円
2008年度	700,000円	210,000円	910,000円
年度			
年度			
年度			
総計	1,700,000円	210,000円	1,910,000円

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：分科：文化人類学 細目：文化人類学・民俗学

キーワード：文化人類学 民族学 社会学 観光研究 モニュメント研究

1. 研究開始当初の背景

申請者は、2006年1月に東北大学大学院環境科学研究科に博士論文「真正性の獲得 - 中国の民族観光の事例から」を提出し、博士（学術）を取得した。本学位論文において申請者は、中国の民族観光を事例として、真正性とは政治的・文化的正当性に裏付けられるものであるという結論に至った。この説をより現代的な事例についても適応させてみたいという動機から、申請者は、近代モニュメントへと研究対象を拡大した。

2. 研究の目的

本研究の目的は、現代の中国観光における伝統的価値観の分析を通して、文字社会における観光の特徴を明らかにすることである。本研究では、「漢字」を中国の伝統的価値観を具体化する一つであると見なし、漢字が媒体となることによって文化的優位性が認められる価値観を「漢字イデオロギー」と呼ぶ。1950年代に入ると、ソ連型の社会主義リアリズム芸術が中国に輸入され、革命や烈士を顕彰するための尖塔型のモニュメントや写実的なレリーフが各地で作られた。そして、

文革期に寺院や廟が破壊された際には、19世紀までの石碑(碑碣)も危機に陥った。しかし、革命記念碑には毛沢東をはじめとする政治家による揮毫は欠かせないものであり、こうした題字は、現在の観光においても観光地の真正性を示す一要素となっているのである。

3. 研究の方法

文献調査および実地調査を行った。

調査地は以下の通りである。

2007年8月 中国 南昌・井冈山

2007年9月 ドイツ ベルリン・ドレスデン

2008年8月 イギリス ロンドン

2008年9月 中国 西安・延安

2008年11月 中国 北京

4. 研究成果

モニュメントの分類

近代モニュメントが多く作られたヨーロッパにおけるモニュメント研究のレビューを行い、ヨーロッパ的モニュメントと東アジア的モニュメントの違いを明らかにした。

社会主義リアリズムの系譜

スターリンの社会主義リアリズムは、多くの様式の模倣であり、その様式を模倣した毛沢東様式も模倣であった。模倣の模倣がモニュメントにおいてどのような形で現れるかを考察した。

モニュメントにおけるジェンダー

の問題を解決する過程で、モニュメント(特に銅像)のジェンダーという問題が浮上した。プロパガンダ芸術に広く見られる男女の描き分けは、銅像にも見ることができる。どのような違いがあるかを分析した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

上の ~ は、以下の ~ と対応する。

[雑誌論文](計 2件)

高山陽子「題字の意義 - 中国におけるモニュメントの分析から」『国際関係紀要』17巻1・2合併号、2008年、51~92ページ、査読有

高山陽子「社会主義リアリズムの系譜 近代中国におけるモニュメントを中心に」『国際関係紀要』18巻1・2合併号、2009年、101~136ページ、査読有

[学会発表](計 4件)

高山陽子「題字から読む中国 - 近代碑の分

析を中心に - 」2007年6月3日、第41回日本文化人類学会、名古屋大学

高山陽子「プロパガンダ芸術の系譜 - 近代彫像を中心に - 」2008年5月10日、東アジア人類学研究会、明治大学

高山陽子「モノとナショナリズム - 中国の社会主義アート of the analysisを中心に」2008年12月6日、京都大学地域研究総合情報センター共同利用・若手プロジェクト、明治大学

「銅像のジェンダー」奥州乃疾風(東北人類学研究会)2008年8月1日、東北大学

[図書](計 0件)

[産業財産権]

出願状況(計 0件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日:

国内外の別:

取得状況(計0件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年月日:

国内外の別:

[その他]

ホームページ等

6. 研究組織

(1)研究代表者 ()

研究者番号:

(2)研究分担者 ()

研究者番号:

(3)連携研究者 ()

研究者番号:

